

総長選考・監察会議（第11回）

令和8（2026）年8月18日（火）

13：00～19：00

議 題

1. 第2次総長候補者の決定について（非公開）
2. 第2次候補者及び総長予定者の決定に係る事項について（非公開）

配付資料

1. 第1次総長候補者に対する面接調査について【非公開】
2. 候補者への質問について【非公開】
3. 総長候補者資料等及び推薦書【非公開】（別冊）
4. 第2次候補者を決定するための手順について
5. （参考資料）求められる総長像の具体化に係る重点ポイント及び評価項目
6. 第2次候補者決定通知（案）について
7. 総長予定者決定時の公表資料について
8. 第7回総長選考・監察会議議事要旨（案）
9. 第8回総長選考・監察会議議事要旨（案）
10. 第9回総長選考・監察会議議事要旨（案）
11. 第10回総長選考・監察会議議事要旨（案）

第 2 次候補者を決定するための手順について

令和 8 年 8 月 1 3 日

総長選考・監察会議

東京大学総長選考・監察会議内規（以下「内規」という。）第 12 条第 4 項に基づき、令和 8 年度に実施する総長選考・監察会議における第 2 次候補者を決定するための手順について、以下のとおり定める。

1. 第 2 次候補者を決定するための手順

- (1) 出席委員により、以下の手順で協議を行う。
 - ① 第 2 次候補者の決定に当たり、多様性の観点その他の考慮すべき事項について検討を行う。
 - ② 無記名投票により、第 1 次候補者のうち、第 2 次候補者として相応しいと考える者（以下「適任者」という。）2 名を選択する。
 - ③ ②の手順において得票数の上位の者から 3 名を適任者として選出する。ただし、その末位に得票同数の者があり得票数上位の者が 4 名以上となった場合には、協議によりその取扱いを決定する。
 - ④ 多様性の観点から、③の手順で選出した適任者と合わせて 5 名を超えない範囲内において適任者を追加する必要性について検討を行う。
 - ⑤ ④の手順において追加が必要と総長選考・監察会議が判断した場合、第 1 次候補者のうちから、追加の適任者について無記名投票を行う。
 - ⑥ ⑤の手順の結果を踏まえて協議し、③の手順で選出した適任者と合わせて 5 名を限度として適任者を選出する。
- (2) (1)③及び⑥の手順で選出された適任者について、内規第 3 条第 1 項第 2 号及び同条第 2 項に基づき表決を行い、第 2 次候補者を決定する。

2. 留意事項

- (1) 適任者の選出に当たっては、求められる総長像に合致していることを前提とする。
- (2) 1. (1)の協議に当たっては、出席委員全員から広く意見を聴取する。
- (3) 1. (1)は、基本的な協議の流れであり、上記によらない場合は、その都度協議してその取扱いを決定する。
- (4) 1. (1)の協議に当たっては、協議を進めるため、委員の意見の分布を確認することを目的として、投票の方法を用いることができる。投票を行う場合は、委員の構成に鑑み、議長は投票することができる。ただし、1. (2)の表決に当たっては、内規第 3 条第 2 項に基づき議長は投票することができない。

(参考資料) 求められる総長像の具体化に係る重点ポイント及び評価項目

総長選考・監察会議 令和8年3月13日

	「求められる総長像」	重点ポイント	評価項目
1	前文：東京大学総長は、東京大学憲章の掲げる目標・理念を尊重し、その達成・実現を追求する明確なビジョンと強い意志を有するとともに、世界と大学をめぐる危機や課題に対峙して、新たな価値創造に挑む果敢なイノベーション戦略を完遂することで、国際的な学術の場における本学の地位をますます高めるべく、次のような資質、能力及び実績に裏付けられた指導力と人々への奉仕的精神をもつことが期待される。	東大憲章の掲げる理念を実現し、世界の危機や課題に対峙して価値を創造する力	明確で具体性のあるビジョン
2			新たな価値創造に挑むイノベーション戦略
3			本学の国際的プレゼンス向上に資する提言
4			世界の公共性に奉仕する精神
5	1 学内外からの敬意・信頼を得るに足る高潔な人格と高い倫理観及び優れた学識	東京大学総長としての品位・学識	高潔な人格
6			高い倫理観
7			優れた学識と教育・研究実績
8	2 開学以来の伝統を活かしながらも、鋭い先進性と説得力のあるビジョンをもって現代社会の要請に能動的に応え、必要に応じて大胆な改革を行い、「世界の東京大学」にふさわしい卓越性・独創性・多様性をそなえた教育研究活動を導く国際的な視野と実行力	国際的視野と改革実行力	伝統と先進性を兼ね備えたビジョン
9			改革への認識と大胆な実行力
10			国際的視野と活動実績
11			卓越性・独創性・多様性のある教育研究活動牽引力
12			現代社会を牽引する人材を育成する意欲
13	3 組織構成員の幅広い支持を受け、円滑かつ総合的な合意形成に配慮しつつ、優れたリーダーシップを発揮し、効果的で機動的な組織運営を行うとともに、本学が果たすべき社会的責任を深く理解し、大学を取り巻く諸課題やリスクなどに対して、主導的に対応していくガバナンス能力と実績	組織運営とガバナンス能力	世界の学術をリードする教学・経営組織のビジョン
14			組織構成員の幅広い支持と合意形成能力
15			優れたリーダーシップと組織運営力
16			リスクに対するガバナンス能力
17	4 世界最高水準の学術研究・人材育成を推進するために、具体的な戦略的指針をもって大学の財務基盤を強化し、社会の各界から幅広い理解・協力を得て、大学を経営していく高度な能力と未来を切り拓く強固な意志	財務基盤強化と高度な経営能力	財務基盤強化実現への具体的な戦略的指針
18			社会各界から幅広く理解・協力を得て大学を経営する高い能力
19			大学の未来を切り拓く強固な意志
20	5 自由・自律及び多様性・包摂性を重んじ、世界の学術の発展と協調的人類社会の実現に貢献しようとする強い使命感	世界の学術の発展と協調的人類社会の実現に向けた使命感	自由・自律及び多様性・包摂性の重視
21			協調的人類社会実現への貢献
22			強い使命感

※評価の参考にのみ活用される

(案)

第2次候補者として選出された候補者宛

令和8年8月19日

<氏 名> 殿

東京大学総長選考・監察会議
議長 国 谷 裕 子

第2次総長候補者への選出について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、ご多忙中のところ、当会議による面接においでいただき誠にありがとうございました。当会議において慎重に審議した結果、貴殿を第2次総長候補者として決定いたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、以下のとおりご案内いたしますので、ご確認いただければ幸いです。

1. 総長候補者資料等の公表について、

第2次総長候補者の氏名は、本日8月19日(水)14時に本学ホームページの総長選考・監察会議ページにて告示し、併せて、先般ご提出いただきました「総長候補者資料」及び「東京大学の教育、研究、運営・経営等に関する所見」を同ページにて公表いたします。

2. 第2次総長候補者の所信表明の動画について

構成員等に対する候補者情報提供の充実化の観点から、意向投票の参加者が候補者について十分な情報を得て責任ある投票を行えるようにするため、当会議主催で第2次総長候補者の動画による所信表明の機会を設けることとなりました。

内容としましては、10分程度の所信表明に加え、あらかじめ総長選考・監察会議が設定した共通の質問に対し、5分程度で意見を表明いただくものとなります。動画は9月10日頃に配信開始予定で、提供先は学内構成員(教職員・学生)及び経営協議会委員です。

①動画の構成

○所信表明・・・10分程度

【所信表明】

面接調査においてお話しいただいた言及必須事項2点の内容を踏まえつつ、所信を述べて頂きますようお願いいたします。

○共通の質問に対する意見表明・・・5分程度

【共通の質問】

1. 本学が世界最高水準の教育研究機関として発展するために、どのような人材を確保して、どのような研究環境、教育制度、カリキュラム、学生支援を実現すべきか明示してください。
2. 学内外の情勢を踏まえて、学生や教職員をはじめとする大学の構成員が、大学運営と意思決定にどのように参画すべきかを説明してください。

②動画撮影日について

○日時 令和8年8月26日(水) 10:00～17:00

(案)

8月27日(木) 10:00～17:00

- 場所 東京大学本郷キャンパス第2本部棟3階
大学総合教育研究センター内スタジオ
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_13_13_j.html
- 所要時間等 上記時間帯のうち1時間程度
- その他 上記動画撮影日時のご都合について、8月24日(月)正午までに下記 web form よりご回答いただきますようお願いいたします。同日中に日時をお知らせいたします。
回答 webform URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/ulkftsKBmN>

③ご用意いただく資料について

○動画用字幕原稿【日本語版・英語版】のご提出(必須)

所信表明の動画の制作に伴い、字幕作成を目的として、日本語および英語の原稿を word ファイルにてご提出くださいますようお願いいたします。原稿は、動画内で実際に発言される内容に基づき、候補者ご本人にて作成をお願いいたします。

○スライド資料のご提出(任意)

所信表明の内容を補足するためのスライド資料をご使用いただくことも可能です。資料の使用を希望される場合は、あわせてご提出ください。

- ・ 形式: PowerPoint (.pptx)
- ・ 枚数: 指定なし

○資料提出先

8月24日(月)正午までに下記オンラインフォルダーにご提出願います。

(URL)

④撮影の流れ等について

撮影当日の流れ、撮影後の対応事項について別紙のとおり纏めましたので、事前にご確認願います。

3. 総長予定者決定時のプレスリリース用写真撮影について

当会議は9月28日(月)に総長予定者の決定を予定しております。これに伴い、総長予定者決定時に発出するプレスリリース等で使用する写真をあらかじめ撮影させていただきたく存じますので、ご協力のほどお願いいたします。

- 日時 「2. 第2次総長候補者の所信表明の動画」撮影終了後
- 場所 東京大学本郷キャンパス広報センター
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_17_j.html
- 所要時間等 30分程度

○その他

本撮影は、総長予定者決定時のプレスリリース等に使用することを想定しております。

服装を指定するものではありませんが、撮影の趣旨をご勘案のうえ、公表用写真に適した服装でお越しいただけましたら幸いです。

【参考】2020年10月2日付けプレスリリース 次期総長予定者選出

(案)

https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/press/z1304_00150.html

4. 総長予定者の決定及び記者会見について

総長予定者の決定後、翌9月29日(火)午前中に本郷キャンパスにおいて総長予定者による記者会見を予定しておりますので、9月28日(月)及び9月29日(火)のご予定、ご所在について、本通知2.②記載の動画撮影日のご都合とあわせて8月24日(月)正午までに前述のweb formによりお知らせいただきますようお願いいたします。なお、9月29日(火)の記者会見等公表にあたっては、ご提出いただきました「総長候補者資料」にご記載の内容を引き続き使用させていただきますのでご了承ください。

敬 具

【本件連絡先】

国立大学法人東京大学 本部法務課法規チーム

住所：〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

メールアドレス：houki.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

(案)

第2次候補者として選出されなかった候補者宛

令和8年8月19日

<氏 名> 殿

東京大学総長選考・監察会議

議長 国 谷 裕 子

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、ご多忙中のところ、当会議による面接においでいただき誠にありがとうございました。当会議において慎重に審議を重ねた結果、誠に恐縮ではございますが、貴殿を第2次総長候補者として決定するに至りませんでした。

選考に際しご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、貴殿の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬 具

【本件連絡先】

国立大学法人東京大学 本部法務課法規チーム

住所：〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

メールアドレス：houki.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

(案)

令和8年8月19日

各 部 局 長 殿

東京大学総長選考・監察会議

議長 国 谷 裕 子

第2次総長候補者の決定について（通知）

東京大学総長選考・監察会議は、次期総長予定者の選考に当たり、第1次候補者に対して、求められる総長像に照らし、「総長候補者資料」、「東京大学の教育、研究、運営・経営等に関する所見」及び候補者が指定した推薦人から提出された推薦書を踏まえて、8月14日及び8月17日に実施した面接を含む調査を行い、別紙のとおり第2次候補者を決定しました。

第2次候補者の決定につきましては、東京大学総長選考・監察会議内規第12条第4項に基づき定められた「第2次候補者を決定するための手順について」に則り、8月18日に開催された総長選考・監察会議において、第1次候補者8名について協議を行いました。その結果、〇名の適任者を選出し、同内規第3条第1項第2号及び同条第2項に基づく表決を経て、第2次総長候補者を決定しました。

ついては、その氏名並びに別添の「総長候補者資料」及び「東京大学の教育、研究、運営・経営等に関する所見」について、意向投票有資格者に対し、周知方よろしくお取り計らい願います。

今後、9月28日に意向投票が実施されますが、当該実施にあたり、部局内における環境の整備についてご配慮いただきますようお願いいたします。

【本件連絡先】

国立大学法人東京大学 本部法務課法規チーム

住所：〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

メールアドレス：houki.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

第2次総長候補者氏名（50音順）

● ● ● ● (▲▲研究科長)

総長候補者資料 日本語版 英語版

所見 日本版 英語版

● ● ● ● (▲▲所長)

総長候補者資料 日本語版 英語版

所見 日本版 英語版

● ● ● ● (理事)

総長候補者資料 日本語版 英語版

所見 日本版 英語版

以上

2026(令和8)年度総長選考の基準・結果等の公表等の取扱いについて(イメージ)

R7.8.27

	選考の流れ	公表・公開する場所	R8公表・公開する事項	(参考)R2年度総長選考
R8.4頃	総長選考開始の公示	東京大学ウェブサイト (プレスリリース有)	スケジュール 求められる総長像 関係規則等	東京大学ウェブサイト(プレスリ リースなし) ※議長談話、求められる総長 像、関係規則等を公表
R8.6頃 代議員会 R2.7.7 経営協議会 R2.7.22	代議員会からの第1次総 長候補者の推薦【10名を 限度】 経営協議会からの第1次 総長候補者の推薦【2名 程度】	総長選考・監察会議 ウェブページ	<代議員会> 氏名 得票数 順位× <経営協議会> 氏名 得票数× 順位× 第1次総長候補者推薦 書×	
R8.7頃 R2.7.22	第1次総長候補者の決定 【12名程度】	総長選考・監察会議 ウェブページ	氏名	非公開
R8.7～ 8頃 R2.9.2～ 9.4	面接	非公開	非公開	非公開
R8.7～ 8頃 R2.9.7	第2次総長候補者の決定(絞り込み) 【3人以上5人以内】	非公開	非公開	非公開
R8.7～ 8頃 R2.9.8	第2次総長候補者氏名の告示	総長選考・監察会議 ウェブページ	氏名 候補者資料 候補者所見 選考過程 推薦書×	学内のみ公表 ※略歴、候補者資料、所見 のほか顔写真を掲載
R8.8～ 9頃	所信表明(動画配信)	学内構成員及び経営 協議会委員へ提供		
R8.9頃 R2.9.30	意向投票	総長選考・監察会議 ウェブページ	全ての投票回の結果(各 第2次候補者の得票数及 び白票数を含む。)を公 表	
R8.9～ 10頃 R2.10.2 (金)	総長予定者の決定	東京大学ウェブサイト (プレスリリース有)	氏名 選考結果 選考理由 選考経過 略歴 求められる総長像 関係規則等 ※記者会見(予定)	東京大学ウェブサイト(プ レスリリース有) ※総長予定者及び総長選考会 議議長による記者会見を実施 ※総長予定者の写真、略歴、総 長予定者資料を公表、選考理 由の説明実施

東京大学総長選考・監察会議ウェブページ

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-info/b02_06.html

※この取扱い(イメージ)は、今後の検討状況等により必要に応じて見直す。

★本部広報課から配信するプレスリリースは、全学サイト UTokyo FOCUS に掲載します。

【参考】総長選考開始の公示

[総長選考の開始の公示について | 東京大学](#)

総長予定者の決定

[次期総長予定者に藤井輝夫理事・副学長を選出 | 東京大学](#)

以下資料は、前回令和2年度総長選考時の公表資料

[ナビゲーションスキップ](#)[お問い合わせ](#)[English](#)[サイト内検索](#)[教員検索](#)[東京大学基金](#)[HOME](#)

UTokyo FOCUS

[Features](#)[Articles](#)[Events](#)[Press releases](#)[Jobs](#)[Find stories](#)

PRESS RELEASES

[フリーワードを入力](#)[検索](#)次期総長予定者に藤井輝夫理事・副学長を選出 [記者発表](#)

本部コミュニケーション戦略課

[シェアす](#)[ポスト](#)

掲載日:2020年10月2日

東京大学では、令和2年10月2日(金)に五神真総長の任期満了に伴う次期総長予定者選考のための総長選考会議が開催され、次期総長予定者として藤井輝夫理事・副学長を選出いたしました。次期総長予定者の任期は令和3年4月1日から令和9年3月31日までの6年間で、第31代目の総長となります。

[略歴](#) [\(PDFファイル: 73KB\)](#)

【関係資料】

- [1. 次期総長予定者の選出について\(総長選考会議議長談話\)](#) [\(PDFファイル: 200KB\)](#)
- [2. 東京大学 次期総長予定者 選考結果、選考理由及び選考過程](#) [\(PDFファイル: 748KB\)](#)
- [3. 求められる総長像\(令和2年4月28日総長選考会議\)](#) [\(PDFファイル: 172KB\)](#)
- [4. 東京大学総長選考プロセスのイメージ\(流れ図\)](#) [\(PDFファイル: 71KB\)](#)
- [5. 国立大学法人法\(抜粋\)](#) [\(PDFファイル: 76KB\)](#)
- [6. 東京大学総長選考会議規則](#) [\(PDFファイル: 83KB\)](#)
- [7. 東京大学総長の任期に関する規則](#) [\(PDFファイル: 116KB\)](#)
- [8. 東京大学総長選考会議内規\(令和2年4月28日改正\)](#) [\(PDFファイル: 132KB\)](#)
- [9. 東京大学総長選考会議委員名簿](#) [\(PDFファイル: 57KB\)](#)

関連リンク

[次期総長予定者の藤井輝夫理事・副学長が会見](#)

関連教員

[藤井 輝夫 / 総長 / 総長室](#)

お知らせ

このページの内容に関する問い合わせは本部コミュニケーション戦略課までお願いします。

お問い合わせ



ソーシャルメディア

UTokyo Mail Hub



[サイトマップ](#)

[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

[採用情報](#)

[UTokyo Portal](#)

[utelecon](#)

[よくある質問](#)

[アクセス・キャンパスマップ](#)

[東京大学における災害時の情報発信](#)

本サイトの管理・運営は広報室が行なっています。

各ページの内容に関連するお問い合わせは、当該ページに記載の問い合わせ先までお願いします。

© The University of Tokyo

ARTICLES

[English](#)[フリーワードを入力](#)[検索](#)

次期総長予定者の藤井輝夫理事・副学長が会見

本部コミュニケーション戦略課

[シェアす](#)[ポスト](#)

掲載日:2020年10月2日

2020年10月2日、東京大学は五神真総長の任期満了に伴う次期総長予定者選考のための総長選考会議を開催し、次期総長予定者として藤井輝夫理事・副学長を選出しました。

同日、伊藤謝恩ホールで開かれた記者会見の冒頭の挨拶で、藤井先生は、「大変な重責を担うことになり身が引き締まる思いです」と述べ、「コロナ禍も含め、目の前の困難な状況への対応にあたりつつ、社会の前提が大きく変わろうとする今日、長期的な大学像を描くことも重要だと考えている」と話しました。

また、「これまで私自身は、世界の誰もが来くなるような学問の場を作っていきたいと言ってきました」と述べ、「こうした新しい学問の場を作っていくことを今後、学内外からの幅広いご意見を伺いながら進めてまいります」と続けました。

記者との質疑応答の中で、大学本部で社会連携と産学官協創を担当してきた経験を踏まえて重視することを聞かれ、「現総長の下、いろいろ立ち上がっている学外の企業との大型連携がある。こうした産学連携などについて、しっかりと成果を出して社会に貢献していきたい」と話しました。

また、東大の学生に特に求める力、また伸ばしていきたい力について聞かれ、社会の変化に合わせた「学び直し」の重要性を強調しました。

「非常に社会の変化が速くなってきているので、例えば特定の専門知識を持っていたとしても、有効に使える場面が変わっていつても可能性もある。新しく、必要な知識を学び直した上で、学び直したその知識をさらに使いこなしていくという、自分が問われている問いや課題に対して必要な知を使っていく力をつけてもらいたい」と述べました。

大学組織のあり方については、大学の組織的なポテンシャルを高めるため、オペレーションのデジタル化を進めると述べ、「教員に限らず事務職員も有効に使える時間を増やしていきたい」と話しました。

次期総長の任期は2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間で、文部科学大臣による任命を経て第31代目の総長に就任する予定です。

藤井先生はスイス・チューリッヒ生まれ、東京育ちの56歳。長年、海中ロボットや、マイクロ流体工学と呼ばれる微小な流路構造を用いて化学、生化学分析や細胞培養等を行う技術の研究を行ってきました。1993年、東京大学工学系研究科から博士号を取得した後、生産技術研究所助教授、理化学研究所研究員などを経て、2007年から現在まで生産技術研究所の教授の職についています。2015年から2018年まで生産技術研究所所長を務め、2018年からは東京大学副学長、2019年からは東京大学理事・副学長として財務、社会連携と産学官協創を担当しています。

今回の総長選考では、第1次総長候補者から選ばれた3名の第2次総長候補について、投票資格を持つ教員による意向投票が2020年9月30日に行われました。有効投票数は1818票、各候補者の得票数は藤井先生が951票、大学院工学系研究科長・工学部長の染谷隆夫教授が635票、自治医科大学学長の永井良三名誉教授が232票でした。

藤井先生の略歴や選考過程に関する詳細については、総長予定者決定に関するプレスリリースをご覧ください。

撮影:尾関裕士

関連リンク

[次期総長予定者に藤井輝夫理事・副学長を選出\(プレスリリース\)](#)

お知らせ

このページの内容に関する問い合わせは本部コミュニケーション戦略課までお願いします。

お問い合わせ

     ソーシャルメディア [UTokyo Mail Hub](#)



[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [採用情報](#)

[UTokyo Portal](#)  [utelecon](#)  [よくある質問](#) [アクセス・キャンパスマップ](#)

東京大学における災害時の情報発信

本サイトの管理・運営は広報室が行なっています。
各ページの内容に関連するお問い合わせは、当該ページに記載の問い合わせ先までお願いします。

© The University of Tokyo

ふじ い てる お
藤 井 輝 夫



生年月日

昭和39年4月5日（56歳）

学 歴

昭和63. 3. 28 東京大学工学部船舶工学科卒業
平成 2. 3. 29 東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻修士課程修了
" 5. 3. 29 東京大学大学院工学系研究科船舶海洋工学専攻博士課程修了

資 格

平成 5. 3. 29 博士（工学）（東京大学）

専 門

応用マイクロ流体システム

職 歴

平成 6. 1 1. 1 東京大学生産技術研究所助教授
" 7. 4. 1 理化学研究所基礎科学特別研究員
" 8. 4. 1 6 理化学研究所生化学システム研究室研究員
" 1 1. 4. 1 東京大学生産技術研究所附属海中工学研究センター助教授
" 1 8. 4. 1 東京大学生産技術研究所
附属マイクロメカトロニクス国際研究センター助教授
" 1 9. 2. 1 東京大学生産技術研究所
附属マイクロメカトロニクス国際研究センター教授
" 2 2. 4. 1 東京大学生産技術研究所
附属マイクロナノメカトロニクス国際研究センター教授
" 2 6. 4. 1 東京大学生産技術研究所
附属統合バイオメディカルシステム国際研究センター教授
" 2 7. 4. 1 東京大学生産技術研究所長（～平成 30.3.31）
" 3 0. 4. 1 東京大学副学長（～平成 31.3.31）
" 3 1. 4. 1 東京大学理事・副学長（現在に至る）

※ 年齢は年度末年齢

次期総長予定者の選出について（談話）

本日、東京大学は、総長選考会議を開催し、藤井 輝夫 氏を次期総長予定者として選出いたしました。

総長選考会議は、選考開始の公示の際に策定した「求められる総長像」に照らして慎重かつ丁寧な審議を行い、次の理由から同氏を次期総長予定者として適任であると判断しました。

同氏は、「求められる総長像」に掲げた東京大学総長として期待される5つの資質、能力及び実績を存分に有し、それらに裏付けられた卓越した指導力を発揮し、東京大学憲章の掲げる目標・理念の実現に向けて東京大学を運営・経営していくことができると十二分に期待できます。

また、大学が果たすべき役割が益々重要になっている中、教学と経営の長として、激しく変化する社会の中で、学問の自由と大学の自治を守りながら、奉仕的精神に則り、構成員の信頼を得つつ、日本、世界から寄せられる大きな期待に応えることができる者であると確信し、同氏が次期総長にふさわしいと判断いたしました。

総長選考会議は、藤井 輝夫 氏のリーダーシップの下、東京大学が更なる発展を遂げていくものと期待しております。

なお、今回の総長選考にあたって、選考プロセス等に関する要望を多方面からいただいたことを真摯に受け止め、総長選考の在り方について、検証と改善に取り組んでいく所存です。

今後とも総長選考への学内外の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年10月2日

東京大学総長選考会議議長

小宮山 宏

東京大学 次期総長予定者 選考結果、選考理由及び選考過程

<選考結果>

次期総長予定者 ふじ い てる お
藤 井 輝 夫

(総長任期：令和3年4月1日～令和9年3月31日)

次期総長予定者略歴 別紙のとおり

<選考理由>

「求められる総長像」に掲げた東京大学総長として期待される5つの資質、能力及び実績を存分に有し、それらに裏付けられた卓越した指導力を発揮し、東京大学憲章の掲げる目標・理念の実現に向けて東京大学を運営・経営していくことができると十二分に期待できます。

また、大学が果たすべき役割が益々重要になっている中、教学と経営の長として、激しく変化する社会の中で、学問の自由と大学の自治を守りながら、奉仕的精神に則り、構成員の信頼を得つつ、日本、世界から寄せられる大きな期待に応えることができる者であると確信し、同氏が次期総長にふさわしいと判断いたしました。

<選考過程>

総長選考日程

4月28日(火)	選考開始の公示
7月7日(火)	第1次総長候補者の推薦(代議員会)
7月22日(水)	第1次総長候補者の推薦(経営協議会)
9月2日(水)	第1次総長候補者に対する面接審査(1日目)
9月4日(金)	第1次総長候補者に対する面接審査(2日目)
9月7日(月)	第2次総長候補者の選定(総長選考会議)
9月30日(水)	第2次総長候補者への意向投票
10月2日(金)	次期総長予定者の決定(総長選考会議)

第1次総長候補者の推薦

東京大学総長選考会議に対し、代議員会及び経営協議会から、それぞれ7月7日(火)及び7月22日(水)に第1次総長候補者が推薦された。

第2次総長候補者（五十音順）

東京大学総長選考会議は、第1次総長候補者に対し、求められる総長像に照らし、面接を含めた調査を行い、その結果に基づいて次のとおり第2次総長候補者を選定した。

染 谷 隆 夫 （工学系研究科長）
永 井 良 三 （自治医科大学学長、宮内庁皇室医務主幹）
藤 井 輝 夫 （理事・副学長）

意向投票結果

有資格者数	2 3 7 5 人
投票総数	2 0 6 9 票
有効投票数	1 8 1 8 票
有効投票数の過半数	9 1 0 票
白票数	2 5 1 票

（五十音順）

染 谷 隆 夫	6 3 5 票
永 井 良 三	2 3 2 票
藤 井 輝 夫	9 5 1 票
計	1 8 1 8 票

総長選考会議活動状況

4月17日（金）	第1回総長選考会議（メール審議）
～26日（日）	・ 議長の選出について ・ 議長の職務代行者の指名について ・ 本年度総長選考会議の進め方について ・ 選考開始の公示について
5月19日（火）	臨時総長選考会議（メール審議）
～20日（水）	・ 総長選考日程の変更について
6月24日（水）	第2回総長選考会議
	・ 代議員会の開催方式等について ・ 第1次総長候補者への通知等について ・ 推薦人への推薦書作成依頼について ・ 人材コンサルティング会社の利用について

7月22日（水）	第3回総長選考会議
	・第1次総長候補者の決定について ・総長候補者からの辞退表明の取扱いについて ・人材コンサルティング会社の利用について ・第2次総長候補者の選考方法等について
8月26日（水）	第4回総長選考会議
	・総長候補者の辞退について ・第2次総長候補者の選考方法等について ・意向投票の方法について ・その他
9月 2日（水）	第5回総長選考会議
	・第1次総長候補者に対する面接審査（1日目）
9月 4日（金）	第6回総長選考会議
	・第1次総長候補者に対する面接審査（2日目）
9月 7日（月）	第7回総長選考会議
	・第2次総長候補者の決定について ・第2次総長候補者への通知・学内への告示スケジュール等について ・意向投票の方法について（報告） ・その他
9月25日（金）	第8回（臨時）総長選考会議
	・総長選考会議に係る文書への対応について
9月29日（火）	第9回（臨時）総長選考会議
	・9月30日の意向投票の実施について
10月 2日（金）	第10回総長選考会議
	・次期総長予定者の決定について ・次期総長予定者の選出に係る通知・公表内容について ・選考過程・制度の検証作業について ・第三者評価（試行）の結果について（報告） ・その他

略歴

1. 氏名及び年令（年令は令和2年度末年令）

藤井 輝夫（56歳）

2. 現職

東京大学 理事・副学長

東京大学生産技術研究所 教授

3. 学位（学位の別、専攻分野、取得大学等名及び取得年月）

博士（工学）（船舶海洋工学、東京大学、平成5年3月）

4. 学歴（大学卒業以降）

昭和63年 3月 東京大学工学部船舶工学科卒業

平成 2年 3月 東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻修士課程修了

平成 5年 3月 東京大学大学院工学系研究科船舶海洋工学専攻博士課程修了

5. 主な職歴

平成 3年 4月 日本学術振興会特別研究員（DC）（平成5年3月まで）

平成 5年 4月 東京大学生産技術研究所

グローブエンジニアリング（トヨタ）寄付研究部門客員助教授

平成 6年11月 東京大学生産技術研究所助教授

平成 7年 4月 理化学研究所基礎科学特別研究員（化学工学研究室）

平成 8年 4月 理化学研究所研究員（生化学システム研究室）

平成11年 4月 東京大学生産技術研究所附属海中工学研究センター助教授

平成15年 3月 ヌシャテル大学マイクロテクノロジー研究所客員研究員
（平成15年12月まで）

平成17年10月 文部科学省参与（高等教育担当）兼務（平成20年3月まで）

平成19年 2月 東京大学生産技術研究所

附属マイクロメカトロニクス国際研究センター教授

平成19年 9月 LIMMS/CNRS-IIS(UMI2820)共同ディレクター
（平成26年8月まで）

平成24年 4月 東京大学総長補佐（平成25年3月まで）

平成27年 4月 東京大学生産技術研究所長（平成30年3月まで）

平成30年 4月 東京大学大学執行役・副学長、（平成31年3月まで）

平成30年 4月 東京大学社会連携本部長（現在に至る）

平成31年 4月 東京大学理事・副学長、EMP室長（現在に至る）

6. 主な教育・研究・社会活動

- 海中ロボットならびにロボットの知能化の研究から転じてマイクロ流体デバイス分野の開拓とその医療バイオ分野ならびに海洋計測分野への応用研究を展開
- 大学院工学系研究科では、精密工学専攻、バイオエンジニアリング専攻を担当
- 精密工学科の学部講義「制御工学Ⅱ」を担当（一昨年まで 10 年間）
- 大学院では「応用マイクロ流体システム」「バイオデバイス概論／Overview of Biodevices」などの講義を担当
- マイクロ流体デバイス関連研究分野の立ち上げに参画（25 年程度）
- 海中ロボットを含む新たな海洋観測システム関連研究分野の研究推進（30 年以上）
- 日仏国際共同研究ラボ LIMMS に参加（20 年間）、ディレクター就任（7 年間）

7. 主な著作（研究論文を含む。）（題目、出典、発行年を記載）

- [1] Fujii, T., and Ura, T., " Self-Generation of Neural Net Controller by Training in Natural Environment", Computational Intelligent: Imitating Life, ed. Zurada, J. et al., IEEE Press (1994) pp.340-351
- [2] Leclerc, E., Sakai, Y., and Fujii, T., " Cell Culture in 3-Dimensional Microfluidic Structure of PDMS (polydimethylsiloxane)", Biomedical Microdevices, Vol.5, No. 2 (2003) pp.109-114
- [3] Kimura, H. et al., " An integrated microfluidic system for long-term perfusion culture and on-line monitoring of intestinal tissue models", Lab on a Chip, Vol.8 (2008) pp.741-746,
- [4] Kim, S.-H., and Fujii, T., " Efficient Analysis of a Small Number of Cancer Cells at the Single-cell Level using Electroactive Double-well Array", Lab on a Chip, Vol.16 (2016) pp.2440-2449

8. 学会、審議会等における主な活動

平成 20 年～24 年：Sensors and Actuators B: Chemical, MicroTAS Section Editor
平成 24 年：The 16th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS2012)を Chairman として開催
平成 28 年～30 年：化学とマイクロ・ナノシステム学会会長
平成 29 年～31 年：Chemical and Biological Microsystems Society President
平成 30 年～：産業構造審議会産業技術環境分科会
研究開発・イノベーション小委員会、委員長代理
平成 31 年～：科学技術・学術審議会委員
海洋開発分科会長、研究開発基盤部会副部長
令和 2 年～：産業競争力会議「社会で育てる STEAM 教育のプラットフォーム構築」プロジェクトリーダー

9. その他特記事項（受賞歴等）

平成 13 年：ディスプレイデザイン大賞入選（21 世紀夢の技術展）
平成 18 年：IEEE Senior Member
平成 20 年：Analytical Sciences Hot Article Award
平成 27 年：Royal Society of Chemistry Fellow

第 7 回総長選考・監察会議議事要旨（案）

1. 開催日時：令和 8 年 8 月 1 0 日（月） 1 3：0 0～1 8：0 0
2. 場 所：安田講堂 2 階 大会議室
3. 出 席 者：国谷、國土、酒匂、佐藤（康）、鈴木、関根、高橋、板東、岩間、浦野、尾上、粕谷、佐藤（仁）、辻、寺田、古村 各委員
4. 陪 席 者：亀井、山口 各監事
5. 議題
 - 1 総長選考・監察会議と運営方針会議との意見交換について（非公開）
 - 2 総長選考に係る面接及び質問について（非公開）
 - 3 第 2 次候補者及び総長予定者の決定に係る事項について（非公開）
6. 配付資料
 - 1 総長選考・監察会議と運営方針会議との意見交換の要旨等【非公開】
 - 2 候補者への質問について【非公開】
 - 3 第 1 次総長候補者に対する面接調査について【非公開】
 - 4 総長候補者資料等及び推薦書【非公開】（別冊）
 - 5 第 2 次候補者を決定するための手順について
 - 6 第 2 次候補者決定通知（案）について
 - 7 意向投票～総長予定者の決定（総長選考・監察会議）～記者会見の流れについて（イメージ）
 - 8 総長予定者決定時の公表資料について
 - 9 第 4 回総長選考・監察会議議事要旨（案）
 - 1 0 第 5 回総長選考・監察会議議事要旨（案）
 - 1 1 第 6 回総長選考・監察会議議事要旨（案）
7. 議事

全ての議事が人事に関する意見交換を行う議事であるため、非公開とする。

 - 1 総長選考・監察会議と運営方針会議との意見交換について

議題 1 に関し、事務局から、配付資料 1 に基づき、説明があった。次いで、出席委員の間で質疑応答が行われた。
 - 2 総長選考に係る面接及び質問について

議題 2 に関し、議長、議長代行及び事務局から、配付資料 2 に基づき、第 1 次総長候補者に対する面接における質問案並びに面接の進行及びスケジュールについて、説明があった。次いで、出席委員の間で質疑応答及び意見交換が行われた。

質疑応答及び意見交換の結果、当該面接の進行及びスケジュールが決定した。
 - 3 第 2 次候補者及び総長予定者の決定に係る事項について

議題３に関し、議長及び事務局から、配付資料５に基づき、説明があり、出席委員の
間で意見交換が行われた。

意見交換の結果、議長から、「第２次候補者を決定するための手順について」の改訂
について、書面による審議とすることについて賛否が諮られ、出席委員から異議はな
く、了承された。

次いで、事務局から、配付資料６に基づき、説明があった。次いで、議長から、出席
委員に意見を求めたところ、特に意見はなかった。おって、議長から、「第２次候補者
決定通知（案）」について、細かい修正等が生じた場合は、議長に一任する旨の提案が
あり、了承された。

次いで、事務局から、配付資料７に基づき、説明があった。次いで、議長から、出席
委員に意見を求めたところ、特に意見はなかった。

以上

第 8 回総長選考・監察会議議事要旨（案）

1. 開催日時：令和 8 年 8 月 1 2 日（水）～ 8 月 1 3 日（木）
2. 方 法：書面審議による
3. 出席者：国谷、國土、酒匂、佐藤（康）、鈴木、関根、高橋、板東、岩間、浦野、
尾上、粕谷、佐藤（仁）、辻、寺田、古村 各委員
4. 陪席者：亀井、山口 各監事
5. 議題
第 2 次候補者を決定するための手順についての改訂について
6. 配付資料
第 2 次候補者を決定するための手順について（改訂案）
7. 議事
第 2 次候補者を決定するための手順についての改訂について
議題に関し、配付資料に基づき、「第 2 次候補者を決定するための手順について」の
改訂について審議を行った結果、委員から異議はなく、原案のとおり了承された。

以上

第9回総長選考・監察会議議事要旨（案）

1. 開催日時：令和8年8月14日（金） 12：45～18：25
2. 場 所：安田講堂2階 大会議室
3. 出席者：国谷、國土、酒匂、佐藤（康）、鈴木、関根、高橋、板東、岩間、浦野、尾上、粕谷、佐藤（仁）、辻、寺田、古村 各委員
4. 陪席者：亀井、山口 各監事
5. 議題
 - 1 第1次総長候補者に対する面接調査（非公開）
6. 配付資料
 - 1 第1次総長候補者に対する面接調査について【非公開】
 - 2 候補者への質問について【非公開】
 - 3 総長候補者資料等及び推薦書【非公開】（別冊）
7. 議事

全ての議事が人事に関する意見交換を行う議事であるため、非公開とする。

 - 1 第1次総長候補者に対する面接調査（非公開）

議題1に関し、配付資料1から3に基づき、第1次総長候補者に対する面接調査（1日目）を実施した。

以上

第 10 回総長選考・監察会議議事要旨（案）

1. 開催日時：令和 8 年 8 月 17 日（月） 12：45～16：56
2. 場 所：安田講堂 2 階 大会議室
3. 出席者：国谷、國土、酒匂、佐藤（康）、鈴木、関根、高橋、板東、岩間、浦野、尾上、粕谷、佐藤（仁）、辻、寺田、古村 各委員
4. 陪席者：亀井、山口 各監事
5. 議題
 - 1 第 1 次総長候補者に対する面接調査（非公開）
 - 2 第 2 次候補者を決定するための手順について
6. 配付資料
 - 1 第 1 次総長候補者に対する面接調査について【非公開】
 - 2 候補者への質問について【非公開】
 - 3 総長候補者資料等及び推薦書【非公開】（別冊）
 - 4 第 2 次候補者を決定するための手順について
7. 議事

議題 1 については、人事に関する意見交換を行う議事であるため、非公開とする。

 - 1 第 1 次総長候補者に対する面接調査（非公開）

議題 1 に関し、配付資料 1 から 3 に基づき、第 1 次総長候補者に対する面接調査（2 日目）を実施した。
 - 2 第 2 次候補者を決定するための手順について

議題 2 に関し、事務局から、配付資料 4 に基づき、第 1 次総長候補者の人数を踏まえ、「第 2 次総長候補者を決定するための手順について」1.（1）②における無記名投票により選択する人数を 3 名から 2 名に変更することについて、第 8 回総長選考・監察会議において審議した結果、原案のとおり了承されたことから、8 月 13 日付で当該手順の改訂を行った旨の報告があった。

以上